

今回は**糖尿病の飲み薬**についてみていきましょう。
ここ数年、糖尿病の治療薬には新しいお薬が次々発売されています。



糖尿病の飲み薬にはどのような種類があるの？

糖尿病治療で使われる飲み薬は、作用の違いから大きく3つに分けられます。

- インスリンの働きを改善する薬
- 糖の吸収を遅らせる薬
- インスリンの分泌を促進する薬



があります。

患者さんの血糖値や、インスリンの分泌量、インスリンの働き方によって薬が決められます。それぞれの薬について詳しく見ていきましょう。
お薬を飲まれている方は、ご自分のお薬の効果について確認しましょう。

インスリンの働きを改善する薬

インスリン抵抗性改善薬

ビグアナイド薬

糖の吸収を遅らせる薬

α-グルコシダーゼ阻害薬

インスリンの分泌を促進する薬

DPP-4阻害薬

スルホニル尿素薬 (SU薬)

速効型インスリン分泌促進薬



インスリンの抵抗性改善薬

薬の名前：**アクトス・ピオグリタゾン**

作用：脂肪や筋肉などでのインスリンの働きをよくなり、ブドウ糖を細胞内にとり込みやすくし血糖値を下げます。

飲み方：1日1回、朝食前または朝食後服用

注意点：顔や手足のむくみ、急な体重増加などの症状が表れた場合は服用を中止して主治医に連絡して下さい。

ビグアナイド薬

薬の名前：**メット・グリコラン・メトホルミン塩酸塩・メトグルコ**

作用：肝臓に蓄えられたブドウ糖が血液中にでて行くのを抑え、筋肉にブドウ糖をとり込みやすくさせて血糖値を下げます。

飲み方：1日2~3回、食後服用

注意点：悪心・嘔吐・腹痛などの消化器症状、筋肉痛、倦怠感などの症状が表れた場合は服用を中止して主治医に連絡して下さい。

α-グルコシダーゼ阻害薬

薬の名前：ベイスン・ボグリボース・セイブル・グルコバイ・アカルボース

作用：糖質の消化・吸収をゆっくりにさせて、食後の血糖上昇をなだらかにしてくれます。

飲み方：1日3回、**食直前**服用

注意点：お腹が張ったり、おならが増えることがあります。（多くの場合、時間とともに軽快します）
低血糖症状が表れたときは必ずブドウ糖を服用してください。（砂糖では血糖値の回復が遅れるた

DDP-4阻害薬

薬の名前：エクア・ネシーナ・ジャヌビア・グラクティブ・トラゼンタ・テネリア・スイニー

作用：血糖が高くなった時に、指令を受けてインスリンの分泌をよくして血糖を下げます。

飲み方：1日1～2回

注意点：飲み忘れた時気が付いたときに1回分を飲んでください。ただし、次の服用時間が近い場合は飲まずに、次の服用時間に1回分を飲んでください。

スルホニル尿素薬

薬の名前：アマリール・グリメピリド・グリミクロン・ダオニール・オイグルコン

作用：すい臓に働きかけて、インスリンの分泌をよくして血糖値を下げます。

飲み方：1日1～2回、食前または食後服用（食前服用の場合は必ず食事を摂ってください）

注意点：食事時間が不規則だと低血糖が起こりやすくなります。食事・運動療法を怠ると体重が増加しやすくなります。



速攻型インスリン分泌促進薬

薬の名前：ファスティク・グルファスト・スターシス・ナテグリニド

作用：すい臓に働きかけて、食後の短時間だけインスリン分泌を促して、血糖値を下げます。

飲み方：1日3回、**食直前**服用（服用後は必ず食事を摂ってください）

注意点：服用後、食事までに時間がかかったり、食後に服用することで低血糖が起こりやすくなります。



有限会社 せがわ薬局

石川県七尾市鍛冶町50番地

TEL 53-0810 FAX 53-3557

<http://www.segawa-pharmacy.com/>

文責：瀬川 美樹